

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情8第6号	受理年月日	令和8年2月2日
件 名	区民センター再開発について、住環境や地域社会に与える長期的影響を評価基準に加え、サステナビリティを重視する企業理念を持つ事業者を選定することを求める陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>区民センター再開発（めぐろかがやきプロジェクト）を中断し、事業者との競争的対話を中止したが、再検討するにあたり事業者の選定基準に関して下記を要望する。</p> <p>区民センター再開発について、事業者選定にあたっては、自社の利益だけを最優先にする事業者ではなく、長期的な住環境や地域社会に与える影響を評価するサステナビリティ経営を実践する事業者を選定して下さい。</p> <p>一例として、目黒区にゆかりのある東急グループについて下記のようなエピソードがあります。</p> <p>「東急不動産の発足時から25年間にわたって社長を務めた五島昇（1916～1989年）は、1956年、日本の民間人として戦後初めてパラオを訪問し、自然の美しさや文化に感銘を受けて南洋での事業を決意した。その後、1984年にリゾートホテル「パラオ・パシフィック・リゾート」を開業した。1982年に建設予定地を視察した際には、当時、担当常務だった安芸哲郎（後の社長）に対し、「ヤシの木より高い建物は建てるなよ」と語ったという。開発を手掛けても目先の利益ばかりを追求しようとはしない。地域の人々や環境に十分配慮することが、結果として大きなプラスになる、という信念がここにある。」</p> <p>【陳情事項】</p> <p>区民センター再開発について、地域の人々や環境負荷に十分配慮することが結果として地域社会全体で大きなプラスになるというサステナビリティ経営を理念とする事業者を選定すること。</p>			